

事前の
チェック

- ① 鉄釘等が使用されている場合は、サビを完全に落とし、防サビ処理を行ってください。
- ② ベニヤ・合板下地に動きがある場合は、十分に固定してください。

■ 施工手順

1. 養生

- ① 床、枠廻り、柱、巾木、見切り等にパテ、接着剤等が付着しないように養生する。



2. シーラー処理 (アク止め)

- ① 「シーラー100+」(4kg)を同量の水で希釈し、刷毛やローラー等にて下地全面に均一に塗布する。
(塗布量の目安: 80g/㎡・1回塗り)
- ② 完全に乾燥させる。
「シーラー100+」処理面に「ジョイントコークA・ホワイト」を約0.2mm厚(クラフトテープ2枚厚程度)塗布し、4時間以上放置してもコークの色が変わらない事を確認してください。(アク止め効果の簡易チェック)



※アクが強い場合は、「アク止めコアシート」を下張りされることをお勧めします。

3. パテ処理

- ① 下塗りは「耐振パテ60」でパテ処理し、目地、段差等を埋める。
- ② 上塗用パテ「プロジェクト輝」等でパテ処理し、下地を平滑化する。
- ③ 完全に乾燥させる。



※ビス頭のパテ処理は、ビス・釘頭専用パテ「Newビスパッチ」をお勧めします。

4. 壁紙貼り

- ① 壁紙施工用接着剤「ルーアマイルド」等を規定量の水で希釈し、糊付機にて壁紙裏面に均一に塗布する。
(塗布量の目安: 135g/㎡)
- ② 養生袋「カンガルー」内で、壁紙に適したオープンタイムを取った後、壁紙を下地に貼り合わせる。
- ③ ジョイント部を重ね切りする際は、下地を切らないよう「PP下敷きテープ」等を使用する。



※コーナー部分等の剥がれ防止に、「ジョイントコークA」の内コークをお勧めします。

■ 使用商品 (施工㎡数)

● シーラー100+(プラス)

商品番号	荷姿	施工㎡数の目安
226-112	4kg(x4)	100㎡/4kg (2倍希釈-1回塗り)

本商品アルテヒト防カビ等級
F☆☆☆☆



● 耐振パテ60

商品番号	荷姿	施工㎡数の目安
279-221	3.6kgx4	200㎡/14.4kg

本商品アルテヒト防カビ等級
F☆☆☆☆



● プロジェクト輝

商品番号	硬化時間	荷姿	施工㎡数の目安
262-421	60	3.5kg	300㎡/
262-431	120	x4	14kg

本商品アルテヒト防カビ等級
F☆☆☆☆



● Newビスパッチ

商品番号	色	荷姿
273-821	クリーム色	2.5ℓ(x4)

本商品アルテヒト防カビ等級
F☆☆☆☆



● ルーアマイルド

商品番号	荷姿	施工㎡数の目安
213-701	18kg	180㎡/18kg

JIS-F☆☆☆☆



■ 注意事項

- ① 下地に湿気がある場合は十分に乾燥させてください。
- ② 表面に汚れ、油分が付着している場合は、中性洗剤で落とし、固く絞った雑巾で拭き取り、乾燥させた後施工してください。
- ③ 施工は5℃以上で行ってください。
- ④ はみ出したシーラー、パテ、接着剤等は直ちに清水にて拭き取ってください。
- ⑤ 「シーラー100+」は、アク止め効果に優れたシーラーですが、アクの種類、塗布ムラ、施工環境、壁紙の種類によっては、アクが発生する場合があります。また、木下地に防蟻剤・防腐剤が使用されていたり、オイルステン等が塗布されていた場合には壁紙が変色することがありますので、ご注意ください。
- ⑥ 「シーラー100+」は、他の合成樹脂系エマルジョン製品と混合使用しないでください。
- ⑦ ベニヤの固定が不十分ですと、壁紙張りの際、パテ処理部にミミズ腫れが生じる事がありますので、ご注意ください。
- ⑧ 壁紙の種類によっては接着しにくいものもありますので、試験施工した上で施工してください。
- ⑨ 極端に湿度が高くなる環境下、あるいは伸縮性の大きい壁紙を施工される場合などは、「ルーアマイルド」等の壁紙施工用接着剤に「ブラゾールSS」または「ブラゾール100S」を10~20%添加し、補強してください。
- ⑩ 壁紙施工後、1週間程度は急激な空調の使用は避け、自然換気に努めてください。
- ⑪ 使用に際しては、各製品の使用方法、注意事項を必ずお読み頂き、十分ご理解いただいた上でご使用ください。